

まちづくり交付金 事後評価シート
塩原温泉地区

平成21年3月

栃木県那須塩原市

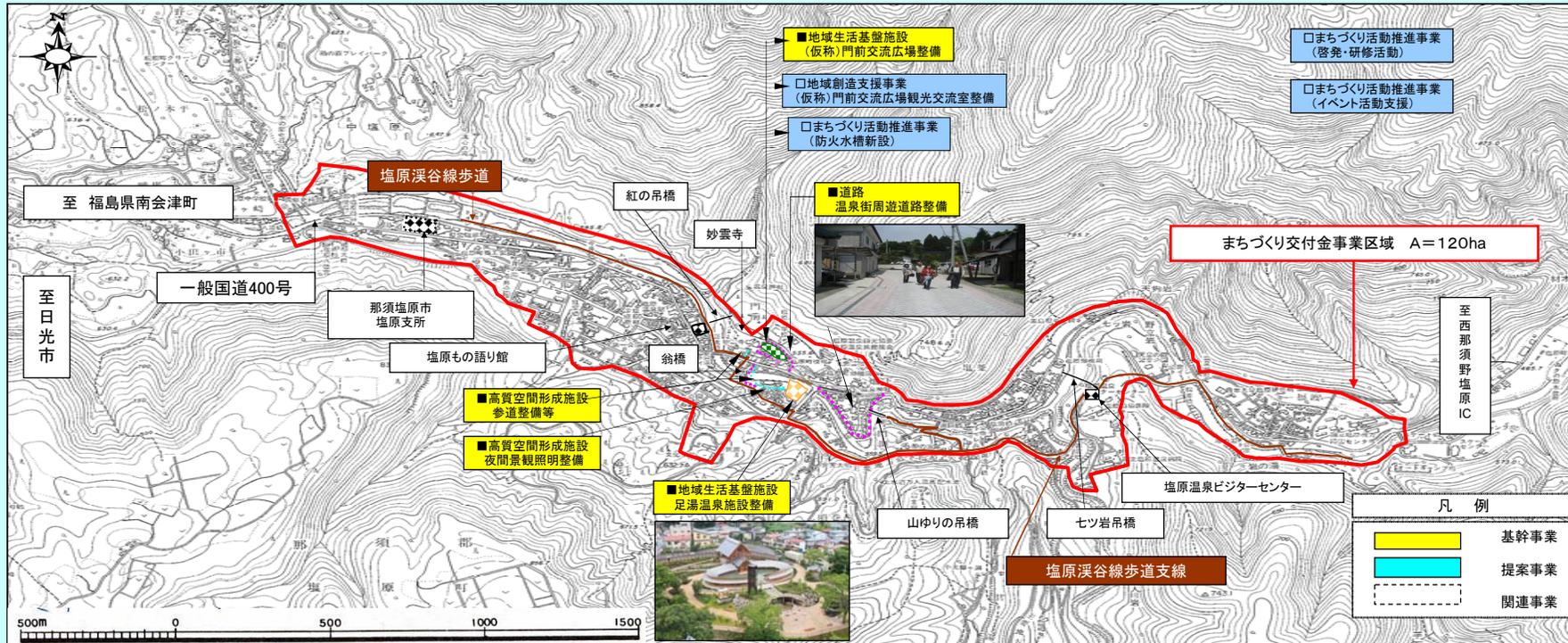
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	那須塩原市	地区名	塩原温泉地区			面積	120ha				
交付期間	平成16年度～20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	797百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(温泉街周遊道路)、地域生活基盤施設(塩原温泉公園、(仮称)門前交流広場)、高質空間形成施設(夜間景観照明)										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(地区まちづくり協議会補助金)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(畑下駐車場)	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		地域創造支援事業((仮称)門前交流広場観光交流室整備、防火水槽新設)、まちづくり活動推進事業(イベント活動事業)				地元調整が整ったことによる事業の追加		影響なし					
交付期間の変更	当初変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	塩原温泉の知名度向上	位/年	85位	H15	70位	H20	56位	61位	○	あり なし	温泉街の基盤づくり、充実した情報の提供により魅力ある温泉街づくりが出来たことが知名度の向上に繋がった。	平成21年12月頃
	指標2	温泉旅館組合ホームページアクセス件数	件/年	26.5万件	H15	31.5万件	H20	31.2万件	33.1万件	○	あり なし	情報発信機会の増加、充実した情報の提供が出来たことがアクセス件数の増加に繋がった。	平成21年4月頃
	指標3	塩原もの語り館入り込み客数	人/年	2.8万人	H15	3万人	H20	4.5万人	4.4万人	○	あり なし	温泉街周遊道路等の整備により歩いて楽しむまちづくりができたことが入り込み客数の増加に繋がった。	平成21年4月頃
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	・本事業の目的のひとつである「地域が一体となって取り組むまちづくり」に向けて組織した協議会の活動により、地域住民のまちづくりへの意欲が向上し、今後も積極的なまちづくり活動の展開が期待される。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	交付期間中(中間年次)におけるモニタリングの実施。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 各指標の毎年度データを把握したうえで、交付期間中の事業効果の確認をすることができた。引き続き毎年度の指標データの確認を行う。					
	住民参加プロセス	地域のまちづくり協議会を組織したうえで地域住民が参加するまちづくりへの取り組み。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民が参加するまちづくりに取り組むことができたことで、まちづくりへの体制の強化及び意識の向上が図られた。今後も、取り組みの継続、また活動を支援する体制づくりに取り組んでいきたい。					
	持続的なまちづくり体制の構築	地域の特色を活かしたまちづくり活動組織の設立。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も、塩原温泉活性化協議会の活動を継続し地域の特色あるまちづくり、地域の活性化を推進してきたい。					

様式2-2 地区の概要

塩原温泉地区(栃木県那須塩原市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 温泉街の再生と住民がいきいきと暮らすまちづくり 目標1 "お泊りへの誘い" 仕組みづくり 目標2 "歩いて楽しむ"ための基盤づくり 目標3 地域が一体となって取り組む"おもてなしのまち"づくり	塩原温泉の知名度向上	単位: 位/年 85位	H15 70位	H20 61位
	温泉旅館組合ホームページアクセス件数	単位: 件/年 26.5万件	H15 31.5万件	H20 33.1万件
	塩原もの語り館入り込み客数	単位: 人/年 2.8万人	H15 3万人	H20 4.4万人



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な温泉を活用した塩原温泉公園、温泉街を歩いて楽しむための周遊道路及び交流広場の整備により、新たな魅力ある温泉街の形成が図られた。 地域まちづくり協議会の立ち上げ、官民プロジェクトチーム(塩原温泉活性化推進協議会)の設立、また、塩原温泉の歴史や文化、自然、観光資源、豊富な温泉などの魅力を地域住民が修得し、発信する塩原温泉観光マスターを育成するための塩原温泉観光マスター学院が設立され地域が一体となって取り組むまちづくりが進められた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 温泉公園を中心とした観光施設を結びつける周遊道路を利用した歩いて楽しめる温泉街の仕組みづくりの創出。交流広場を利用したイベントの開催。 塩原温泉活性化推進協議会及び地区まちづくり協議会において交流広場等の効果的な利用方法の検討、地区内のマップづくり及び統一したサイン計画の策定、観光マスターについては、観光ボランティアの仕組みづくりの検討。 さらに周遊性を高めるため、塩原温泉公園等の新たな拠点施設と既存施設を結び、歩いて楽しむ空間作りのため温泉来訪者及び、地域住民のニーズに即した、温泉街のプロムナード化等の整備に向けた検討を続けていく必要がある。 当事業の計画から実施に当たっては、塩原温泉活性化協議会が活動の中心となって官民一体となった事業を進めてきており、事業終了後も引き続き塩原温泉活性化推進協議会が中心となったまちづくり活動の展開を図っていく必要がある。